

## 平成30年12月定例会 議事録

- ・日 時：平成30年12月6日（木）19：00～20：50
- ・場 所：石川県NPO活動支援センター「あいむ」ロビー
- ・出席者：五十嵐、池田、大竹、黍野、木村、今度、蓮井、村中、吉田  
（計6名）
- ・オブ出席：なし
- ・進行記録：大竹

### 《議題》

1. 金沢市交通政策課関係のイベントについて
2. 北陸鉄道金石線廃線跡と金石・大野の街並みを訪ね歩く
3. その他

### 《内容》

#### 議題1. 金沢市交通政策課のイベントについて

- ・金沢市交通まちづくり市民フォーラム（11月3日（土））報告

参加者 吉田、黍野、村中、蓮井

#### 感想

市民フォーラムと言いつつ、参加者の大部分は、動員と思われる業界関係者だった。

谷口先生の講演は心理学要素を加味したアプローチ法だった。金沢という地域性に踏み込んだ話もほしかった。内容については一般市民向けのレベル。聴講者は交通関係者が多かった。ミスマッチであるがこれは事務局側の企画立案に問題があろう。

テーマであるモビリティーマネジメントの手法は、公共交通インフラが整った都市で初めて選択可能となる。インフラが何もない金沢の場合、困難ではないかと質問で追及したところ、コーディネーターからは「能登地区で自動運転の実験を行っている・・・」旨、見当違いの答えが返ってきた。あえてはぐらかされたとも考えられるが、流行語の「ご飯論法」であった。

内田さんの講演は福井のマップに特化した内容が中心。越権行為にならないよう、敢えて金沢のことには触れないに配慮したと聞く。

- ・もう一つの公共交通関連30年度事業について

（意見）先月に引き続き再意見については以下の通り。

- ・金沢在住の外国人を招いた内容にしたらどうか。まいどさんの場合、観光マニア的な人では困る。

- ・まいどさんでも元北鉄職員など、交通事情に詳しい人が望ましい。
- ・3月頃、金石地区で芸術祭が行われる。21世紀美術館のバス借上げによる見学ツアーを実施してはどうか。  
(→公共交通利用促進という事業の目的に合わない可能性がある。)
- ・婦人会や学生などの層を集めてはどうか。
- ・これから金沢の交通を語れる学識経験者では、金沢工大の宮下先生や金沢学院大の竹村先生が期待できる。
- ・そもそも、市の事業につきあう必要があるのか。予算が余っているようだが、市の都合ではないか。
- ・前回までの定例会で、一緒にやると話をしているので今回は断れないだろう。
- ・以上を踏まえ、吉田さんが企画書を作ることとなった。
- ・事業の時期（年度末ならデッドラインなど）、予算規模を含め、予算が使える内容、できない内容等、今川さんに確認してもらう必要がある。それを踏まえないと具体的な内容までは踏み込めない。今川さんには次回1月の定例会までに報告してもらう。

#### 議題2 北陸鉄道金石線廃線跡と金石・大野の街並みを訪ね歩く

- ・31年5月頃開催。
- ・五十嵐さんから資料が届いたので、会員へ回覧。  
また、昔、金石線を利用していた五十嵐さんに当時の模様などをレポートしてもらう。原稿はホームページに掲載する。

#### 議題3 その他

- ・蓮井さんから、旧金名線廃線跡や白山麓ツアーの提案有り。「ちよい旅」と名付け31年9月頃実施。

次回予定 … 定例会 31年1月10日（木）、19:00～「あいむ」にて